

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

水に注意



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。

異常に気づいたら



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障の原因があります。至急、お買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

電源 / 電源アダプター



電源アダプターは必ず交流 100V に接続する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、指定のものを使用する。(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発火などの原因になります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。お手入れをする際は、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。



電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きする。感電やショートのおそれがあります。




電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。




タコ足配線をしない。コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。


注意


電源 / 電源アダプター


 電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。


 電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。


電池


 指定以外の電池を使用しない。
火災、発熱、液漏れの原因になります。


 使い切りタイプの電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。


 乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。


 電池は一度に全部を交換する。電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なるもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。


 電池は乳幼児の手の届く所に保管しない。
口に入れたりすると危険です。


 電池を分解しない。
電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。

 電池を火の中に入れない。
破裂するおそれがあります。


 電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。
電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。

 電池はすべて＋／－の極性通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。


 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

 使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

接続


 サイレントチェロ™の出力端子から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントチェロ™の入力端子に、絶対に戻さないでください。

発振を起こし、内部機器の損傷の原因になります。


 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。


感電または機器の損傷のおそれがあります。


運搬 / 設置

 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。


本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。


 テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を使用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。


 不安定な場所に立てない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

取り扱い

 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損する原因になります。

 大きな音量で長時間ヘッドフォン（イヤホン）を使用しない。
聴覚障害の原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

ごあいさつ

このたびはヤマハサイレントチェロ™をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントチェロ™の機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管していただきますようお願いいたします。

目次

安全上のご注意	2
本体 / 付属品	5
本体各部の名称	6
演奏準備	9
■ 調弦および弦の交換について	9
■ ひざ当てについて	12
■ 胸当てについて	13
■ エンドピンについて	13
■ うで当てについて	13
付属ソフトケースについて	14
電源の準備	15
■ 乾電池を使うときは	15
■ 家庭用コンセントから電源を取るときは	15
本体仕様	16



音楽を楽しむエチケット

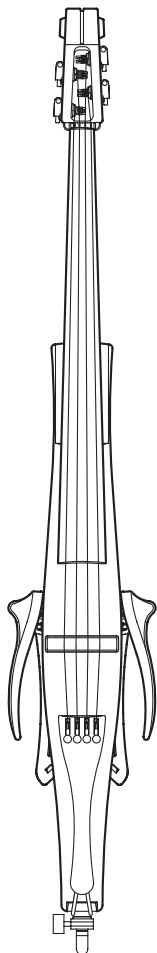
楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

本体 / 付属品

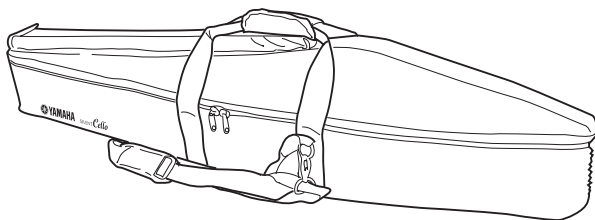
パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

SVC210

● 本体 × 1



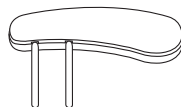
● ソフトケース × 1



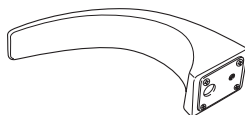
● 駒 × 1



● 胸当て × 1



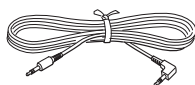
● うで当て × 1



● ステレオヘッドフォン × 1



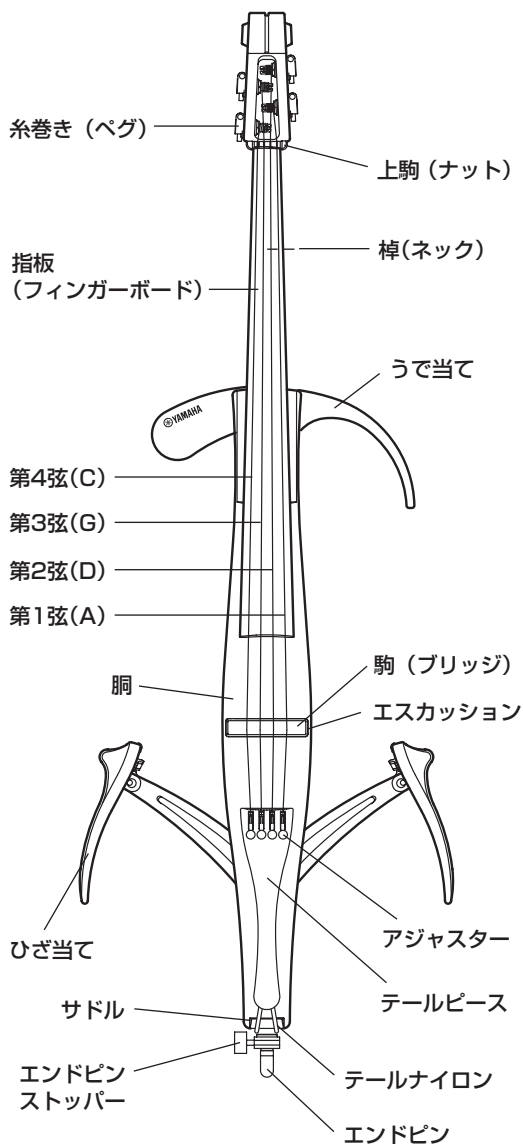
● オーディオケーブル × 1
(AUX IN 端子接続用)



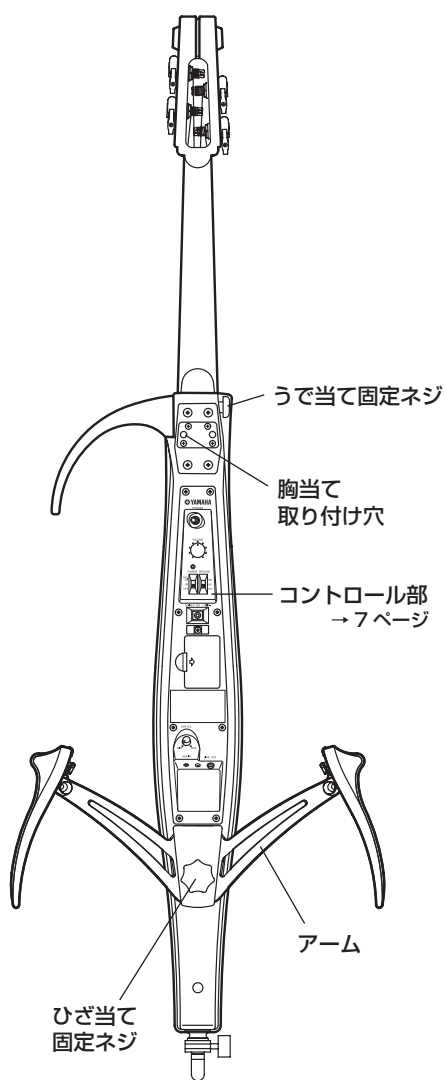
※電源アダプター (別売): Yamaha PA-3C (日本でご使用の場合)、PA-130 (海外でご使用の場合)
※乾電池でご使用になる場合は、単 3 乾電池が必要です。

本体各部の名称

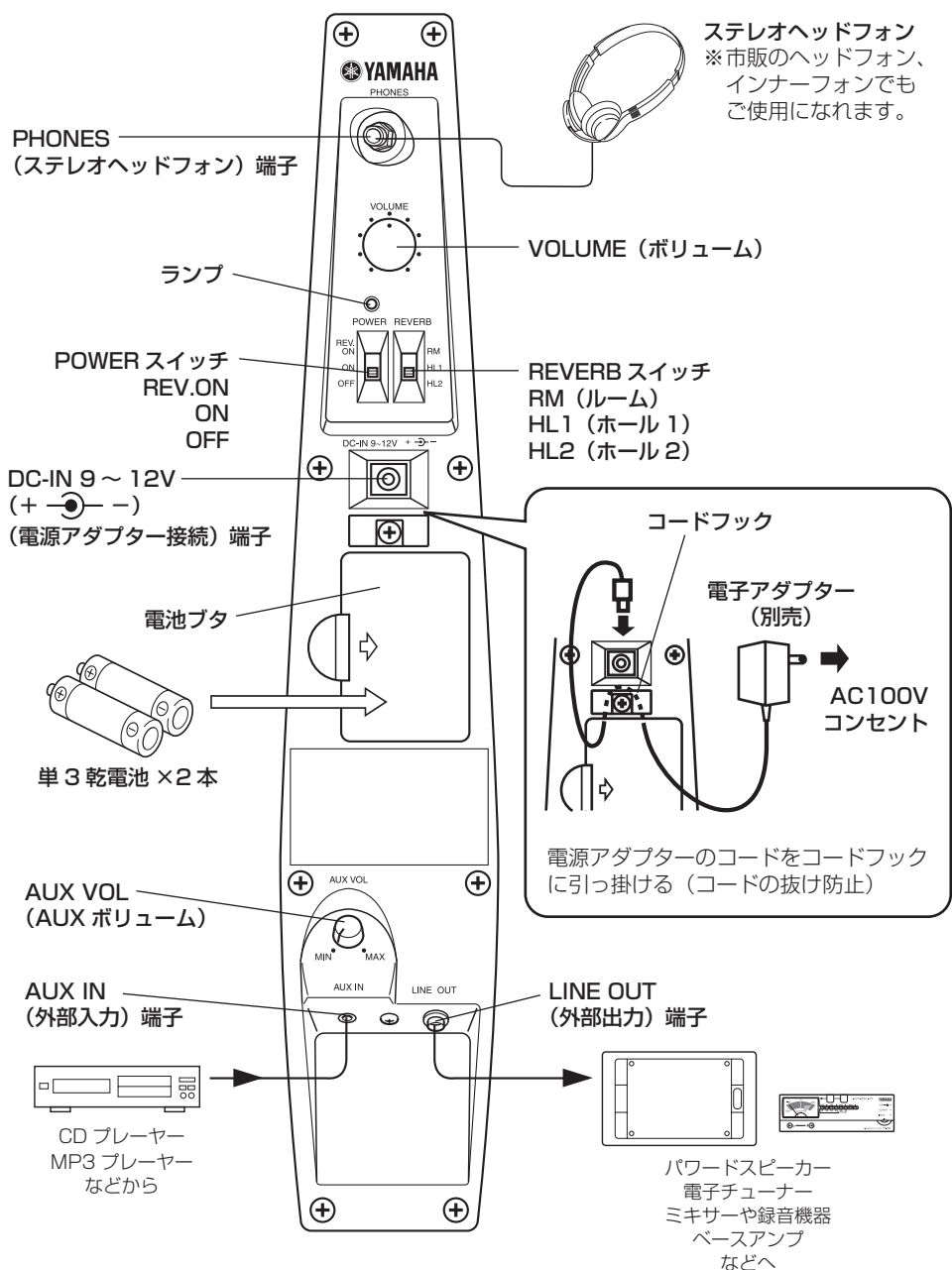
●フロント部



●リア部



●コントロール部



■ 基本的な使用方法

1. リア部の POWER スイッチを「ON」の位置まで動かして、電源を入れます。
ランプが緑色に点灯します。
2. リア部の PHONES 端子に、付属のステレオヘッドフォンを接続し、両耳に装着します。
3. 演奏して VOLUME を回して、適度な音量になるように調整します。

■ リバーブ機能

サイレントチェロ™は、DSP リバーブを搭載しています。3 種類のリバーブ効果（残響効果）をかけて演奏してみましょう。

1. リア部の POWER スイッチを「REV. ON」の位置まで動かすと、ランプが赤色に点灯し、演奏にリバーブがかかります。
2. リア部の REVERB スイッチを動かして、3 種類のリバーブモードを切り替えます。

RM（ルーム）： 室内で演奏しているような残響が付加されます。

HL1（ホール 1）： ホールで演奏しているような残響が付加されます。

HL2（ホール 2）： ホール 1 よりさらに長い残響が付加されます。

■ 入力端子（AUX IN 端子）

- リア部の AUX IN 端子は、外部機器からのステレオ音声信号を入力する端子です。
付属のオーディオケーブルで、CD プレーヤーなどのオーディオ機器の出力端子と接続すれば、外部機器の演奏をバックに練習することができます。
- AUX IN 端子から入力される音声信号のボリュームは、AUX VOL コントロールで調整します。

■ 出力端子（LINE OUT 端子）

リア部の LINE OUT 端子は、サイレントチェロ™のステレオ音声信号を出力する端子です。市販のステレオ（またはモノラル）標準フォーンプラグケーブルで、外部のパワースピーカー、ミキシングコンソールなどの入力端子と接続すれば、サイレントチェロ™の演奏音を外部機器で鳴らしたり、録音することができます。VOLUME を回すと LINE OUT 端子の音量も変化します。

⚠ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
 - サイレントチェロ™を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で接続してください。また、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。大音量で聴覚障害を起こしたり、機器を損傷するおそれがあります。
 - 電源が入った状態で接続コードが抜けると、機器が損傷するおそれがあります。耳に伝わる衝撃も大きいので注意してください。
 - コードを踏まないように注意してください。コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。
 - サイレントチェロ™の出力端子から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントチェロ™の入力端子に、絶対に戻さないでください。発振を起こし、内部機器の損傷の原因になります。
 - 外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。
- LINE OUT 端子にパワースピーカーを接続した際、パワースピーカーの能力によっては低音が歪む場合があります。パワーに余裕のある 50W 以上のモデルをお使いになることをお奨めします。
- 音が歪む場合は、VOLUME を左に戻してください。

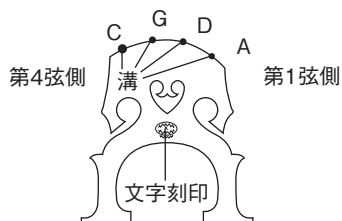
演奏準備

■ 調弦および弦の交換について

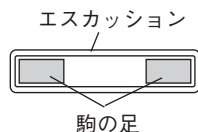
出荷時、駒はサイレントチェロ™本体から外してあります。まず駒を本体に正しく取り付けてから、調弦してください。また、弦は古くなると音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

- 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

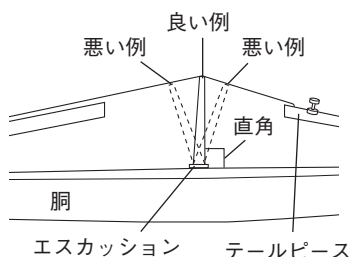
- 駒は上部の山が低い方が第1弦(A)側、高い方が第4弦(C)側です。向きに注意し、駒の足がエスカッションの側面に触れない位置に、駒を設置してください。駒の向きは、文字が刻印されている面がテールピース側になります。
- 駒は胴に対して垂直に立ててください。傾いている場合は両手でそっと起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。



【テールピース側から見た図】



【駒が接触しないように設置】



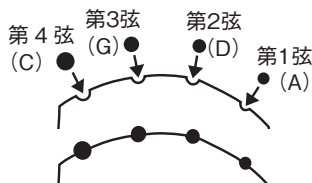
重要!

弦は必ず駒の弦溝にしっかりと収まった状態でお使いください。

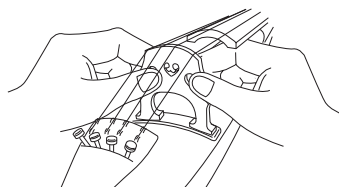
駒を立てる際や弦を交換する際、弦が弦溝から外れる場合があります。特に第1弦(A)と第4弦(C)は外れやすいので、駒上の弦を指で軽く押さえながら調弦してください。

駒は演奏時、保管時間問わず、常に胴に対して垂直に立てておきます。

駒は調弦前にきちんと垂直に立てても、調弦をしている間に傾いてしまう場合があります。また、保管中に傾いてしまう場合もあります。これらの場合は、再度垂直に立つように調整してください。

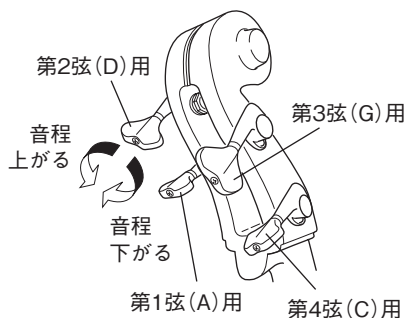


【弦が駒溝から外れないこと】



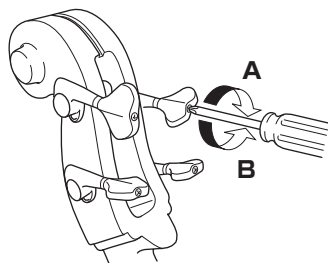
【駒は垂直に立てる】

- 調弦は、第1弦がA音、第2弦がD音、第3弦がG音、第4弦がC音です。
ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻を回してチューニングしてください。



- 糸巻の回転トルクの調整は、糸巻側面のトルク調整ネジで行います。

- ・ トルクが弱く、軽い接触などでツマミが回ってしまう場合
→ 調整ネジを右（時計方向：A）に回す。
- ・ トルクが強く、チューニングがスムーズに行えない場合
→ 調整ネジを左（反時計方向：B）に回す。

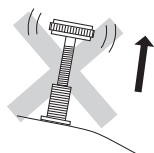


- 最後にアジャスターを回して微調整します。

注意！

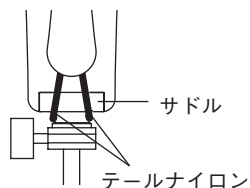
アジャスターのネジ部がゆるみすぎると、演奏時の雑音の原因になります。

ゆるめすぎないこと



注意！

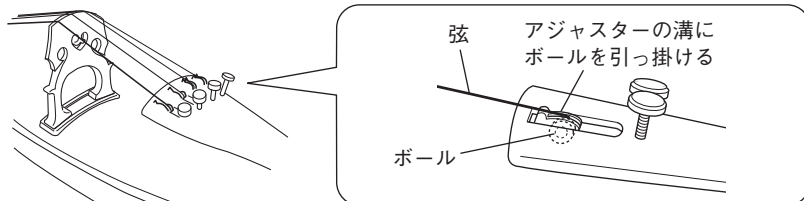
テールナイロンが正しくサドルの上にのるように調整してください。



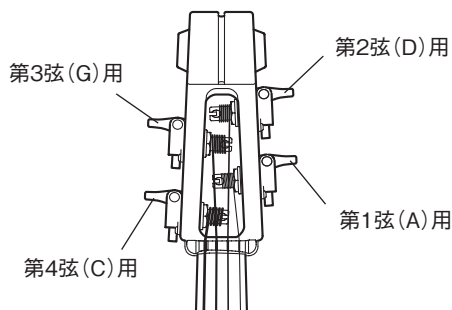
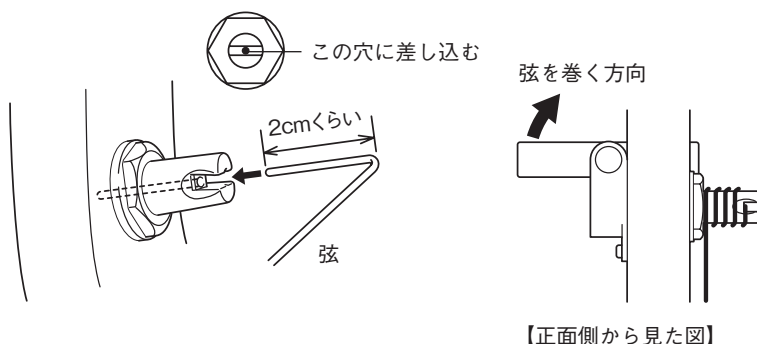
- 楽器を使用しない時は、弦を1音程ほどゆるめてください。また、長時間使用しない場合は、更にゆるめて保管してください。
- 駒は常に本体に対して垂直に立った状態であることを確認した上でお使いください。傾いた状態で使用すると、駒の寿命を縮めたり音質劣化の原因となります。

● 弦の巻き方

1. 弦を取り付ける前に、アジャスターを調整範囲の中間くらいの位置まで回しておきます。(全弦とも)
2. 弦の端のボールをアジャスターに引っ掛けます。この時、アジャスターの溝にボールを確実に収めてください。



3. 弦の先を 2cm くらい直角に折り曲げ、糸巻の穴に差し込みます。弦を駒方向に引っ張りながら糸巻を回し、糸巻の巻芯に弦を巻いていきます。弦は、下図のように巻芯の根元方向に向かって巻いていきます。



■ ひざ当てについて

出荷時、ひざ当ては折りたたまれています。

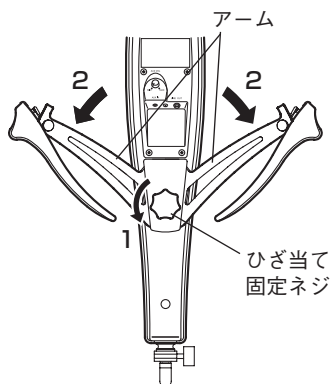
演奏の際は、以下の手順でひざ当てを正しくセットしてからお使いください。

1. ひざ当て固定ネジをゆるめます（3回転程度）。

* ひざ当て固定ネジをゆるめすぎないでください。

2. アームを左右とも、止まるまでゆっくりと外側に開きます。

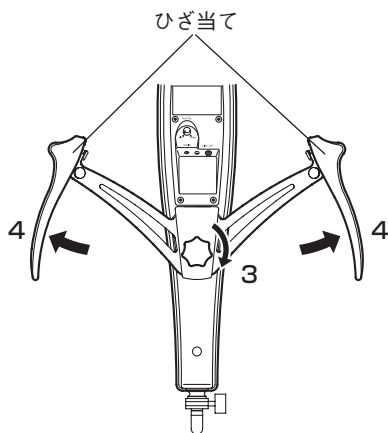
* アームが引っ掛かって開かない場合は、ひざ当て固定ネジをさらにゆるめてください。



！ アーム開閉の際、指や手などをはさまないように、充分注意してください。

3. ひざ当て固定ネジを締め、アームが戻らないようにしっかりと固定します。

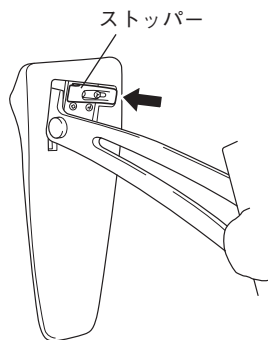
* ひざ当て固定ネジは確実に締めてください。ゆるんだ状態でお使いになると、演奏時に楽器が動いたり雑音が発生したりします。



！ ひざ当て固定ネジは、アームが完全に開いた状態または完全に閉じた状態以外では、締めないでください。故障の原因となります。
構造上、アームを閉じた状態でひざ当て固定ネジを締めても、アームは固定されません。

4. ひざ当てを左右とも、止まるまで外側にゆっくりと開きます。

5. ひざ当て内側のストッパーをスライドさせてアームにかけ、ひざ当てが内側に戻らないようにします。ひざ当て左右のストッパーをそれぞれセットしてください。



これで、ひざ当てのセットは完了です。

ひざ当てを折りたたむ場合は、上記と逆の手順で行ってください。

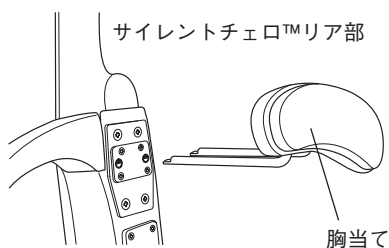
● 楽器の移動の際、ひざ当てを持たないでください。必ず棹(ネック)または胴を持ってください。

■ 胸当てについて

胸当ては、チェロを身体にしっかりと固定するための付属品です。

イラストを参考にして、リア部の取り付け穴に胸当てのピンをしっかりと差し込んでお使いください。

* 胸当ての取付方向にご注意ください。

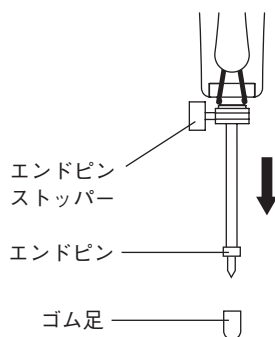


■ エンドピンについて

エンドピンストッパーをゆるめ、エンドピンを引き出し、演奏しやすい高さの位置でエンドピンストッパーをしっかりと締めて固定します。

エンドピンの先端にはゴム足が付いていますが、ゴム足を外してエンドピンの先端を床に当てて使用することもできます。

- エンドピンの先端は尖っていますので、取り扱いの際は充分注意してください。
- 演奏中に楽器が落下しないよう、エンドピンストッパーは確実に締めて固定してください。

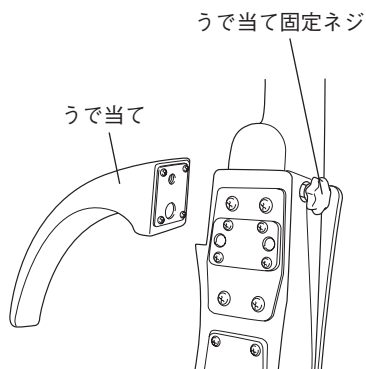


■ うで当てについて

出荷時、うで当てはサイレントチェロ™本体から外してあります。

うで当ての取付面と本体の取付面が平行になるようにうで当てをあてがってから、うで当て固定ネジを締めて固定します。うで当て固定ネジを確実に締め、うで当てを本体にしっかりと固定してください。

- うで当てはしっかりと固定してお使いください。ゆるんだ状態でお使いになると、演奏時に楽器が動いたり雑音が発生したりします。
- うで当て固定ネジを無理に引き抜かないでください。
- 楽器の移動の際、うで当てを持たないでください。必ず棹（ネック）または胴を持ってください。



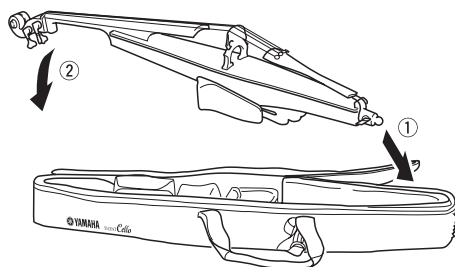
付属ソフトケースについて

付属ソフトケースは、本製品専用のものです。

プロテクター（ケースに付属）を装着することにより、駒を装着した状態のままケースに収納し、持ち運ぶことができます。

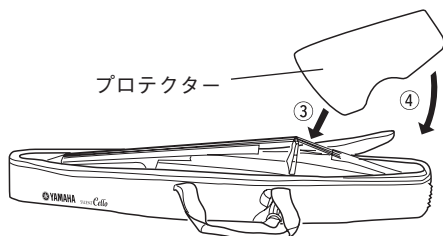
● チェロ本体の挿入

1. ひざ当ては折りたたみ、胸当てとうで当てを本体から取り外します。
エンドピンは本体内に収納した状態で、エンドピンストッパーを締めて固定します。
2. エンドピン側を先にソフトケースに入れ①、次にヘッド側をソフトケースに入れます②。

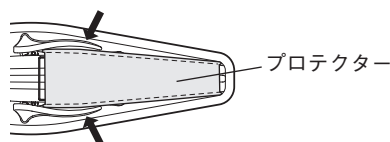


● プロテクターのセット

1. プロテクターの駒側を先に、本体の胴とひざ当ての間にナナメに差し込みます③。
2. プロテクターのエンドピン側を上から静かに押し込みます④。

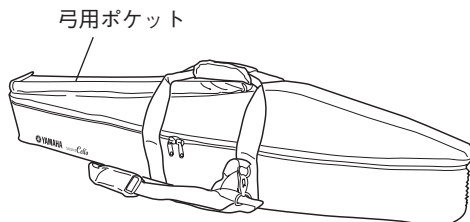
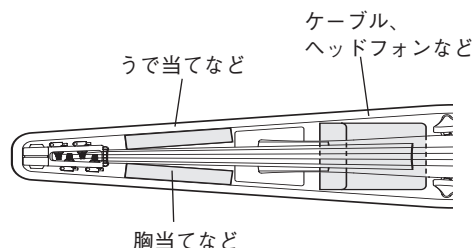


- プロテクターは、あくまで移動の際に生じる軽度の衝撃から保護するためのものです。プロテクター面を下にして置いたり、物を乗せる、ぶつけるなど、衝撃を与えることは避けてください。



* プロテクターは、駒など各部品の損傷を保障するものではありません。

● 収納ポケット



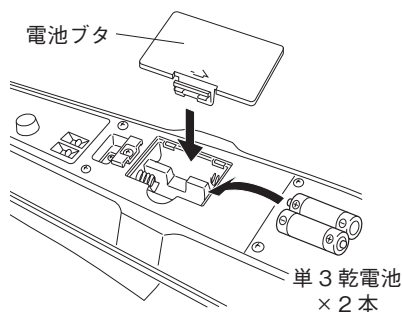
- 弓用ポケットに弓を収納する際は、必ず弓ケースに入れた上で、ご使用ください。

電源の準備

サイレントチェロ™は、電源として乾電池と家庭用コンセントの両方を使うことができます。電源の準備をする前に、本体リア部の POWER スイッチ (OFF/ON/REV.ON) を OFF にしてください。

乾電池を使うときは

1. サイレントチェロ™を裏返し、電池ボタンをはずします。
2. 乾電池(単3乾電池)を2本入れます。イラストを参考に、向きを間違えないように入れてください。
3. 電池ボタンを閉めます。



POWER スイッチを「ON」にするとランプが緑色に、「REV.ON」にするとランプが赤色に点灯します。

電池が少なくなるとランプが橙色になり、音が歪んだり、リバーブがかからなくなったり、ノイズが発生したりします。このような時は以下のことに注意して乾電池を交換してください。

灯色で点灯



⚠ 注意

- 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど）を一緒に使用しないでください。発火の原因になります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

家庭用コンセントから電源を取るときは

電源アダプター (別売) : Yamaha PA-3C (日本でご使用の場合)、PA-130 (海外でご使用の場合)

1. 電源アダプターの DC プラグを、サイレントチェロ™のリア部の DC IN 9 ~ 12V 端子に、確実に差し込んでください。
2. 電源アダプターの AC プラグを家庭用 (AC100V) コンセントに差し込みます。

- 乾電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。乾電池の液漏れ防止の為、電源アダプターでご使用になる場合は、乾電池を本体から抜いておくことをお勧めします。
- 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障・発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

本体仕様

棹（ネック）：	メイプル
胴：	スプルース / メイプル
指板：	エボニー
駒（ブリッジ）：	メイプル（Aubert）
ひざ当て・うで当て：	ブナ
糸巻：	ウォームギア方式
テールピース：	アジャスター 4 ピース付（Wittner）
弦：	ボールエンドタイプ・チェロ弦（Helicore）
センサー：	駒下配置方式ピエゾピックアップ
電気：	<ul style="list-style-type: none">・POWER スイッチ（OFF/ON/REV.ON）・REVERB スイッチ（RM/HL1/HL2）・VOLUME・AUX VOLUME・LINE OUT 出力・PHONES 出力・AUX IN 入力
電源：	単 3 乾電池（R6/LR6）×2 本または電源アダプター
消費電力：	2.5W（PA-3C 使用時）、 1.0W（PA-130, PA-130A, PA-130B 使用時）
電池寿命（連続使用時間）：	マンガン乾電池 <ul style="list-style-type: none">・リバーブ音なし（POWER スイッチ「ON」）：10 時間・リバーブ音有り（POWER スイッチ「REV.ON」）：3 時間 アルカリ乾電池 <ul style="list-style-type: none">・リバーブ音なし（POWER スイッチ「ON」）：25 時間・リバーブ音有り（POWER スイッチ「REV.ON」）：9 時間
弦長：	690mm
寸法：	1,251(L) × 438(W) × 243(H)mm (演奏状態、胸当て含まず)
質量：	3.9kg（乾電池および胸当て含む）

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1